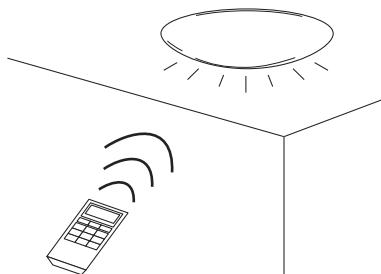


## ■ 送信のしかた

必ずリモコンを器具に向けて操作してください。

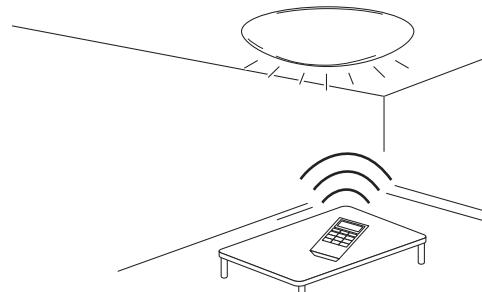
### ●通常の点灯・消灯の場合

リモコンを器具に向けて操作してください。

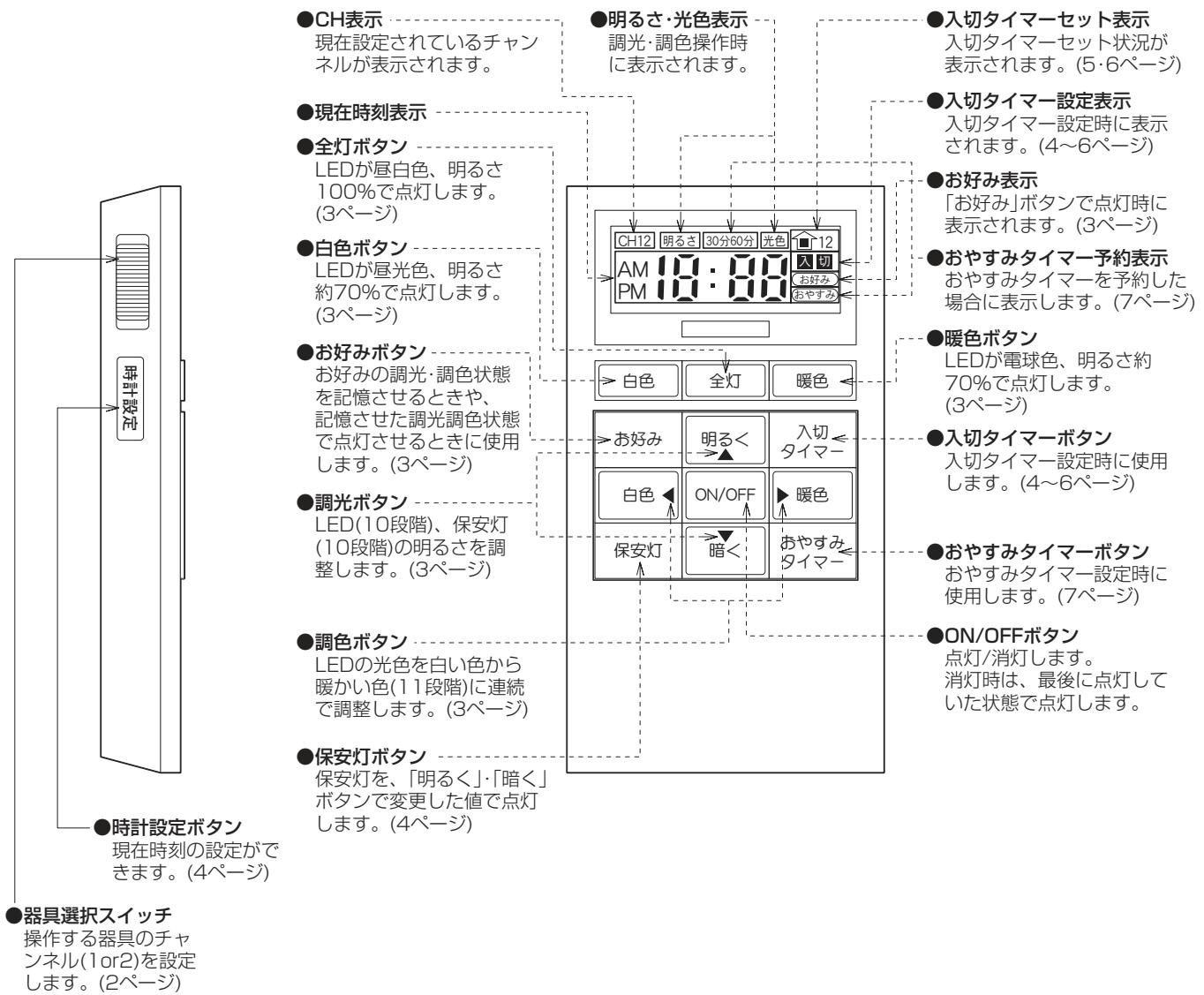


### ●「入切タイマー」・「おやすみタイマー」を使用する場合

使用する状態で点灯・消灯することを確認してください。

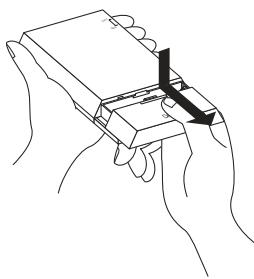


## ■ 各部の名称

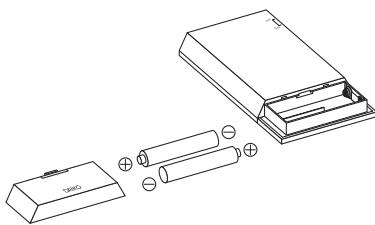


## ■ 電池交換方法

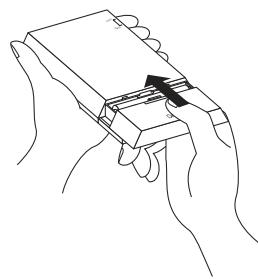
1. 裏面のフタを軽く押さえながら手前に引く。



2. 電池(単四2個)を正しく図のように入れる。



3. カチッと音がするまでフタを押し込む。



●同梱の電池は、照明器具本体を取り付けた際の動作確認用電池です。

●リモコン操作できる距離が短くなってきたら、新しい電池に交換してください。

●電池の誤った使い方をしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので次のことにご注意ください。

(1)電池のプラス+とマイナス-の向きを正しく入れてください。

(2)新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

(3)電池には同じ形状でも特性の異なるものがありますので、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

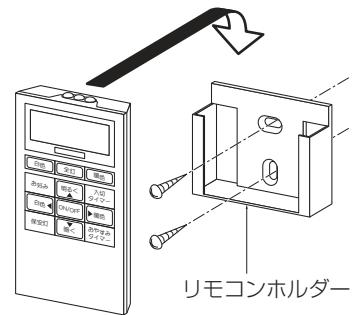
(4)電池を加熱、分解、ショートしたり、火の中に投入しないでください。

(5)長時間ご使用にならない時は、電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので、電池を取り出してください。

## ■ 取付方法

●リモコン送信器をなくさないように、同梱されているリモコンホルダーは付属の木ネジで確実に固定してください。

※但し、リモコンホルダーにリモコン送信器を入れたまま、壁スイッチ代わりとしてご使用になる場合は、固定する前にその取付位置で照明器具が動作することを必ず確認してから、リモコンホルダーを壁面の補強材のある位置に固定してください。



## ■ チャンネル設定

●器具選択スイッチ…1つの送信器で2台の照明器具を操作する場合

受信器のチャンネルに合わせてスイッチを切り替えることで、1つの送信器で2台の照明器具を操作することができます。

### <1台の器具のみ操作する場合>

送信器の器具選択スイッチと照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチが「CH1」に設定されていることを確認してください。

### <2台の器具のみ操作する場合>

送信器の器具選択スイッチと2台目の照明器具の受信器のチャンネル設定スイッチを「CH2」に設定してください。

### (注意)

送信器側と照明器具側のチャンネルが異なる場合は動作しません。  
出荷時は送信器、受信器ともにチャンネルは「CH1」になっています。

[送信器]

[送信器]

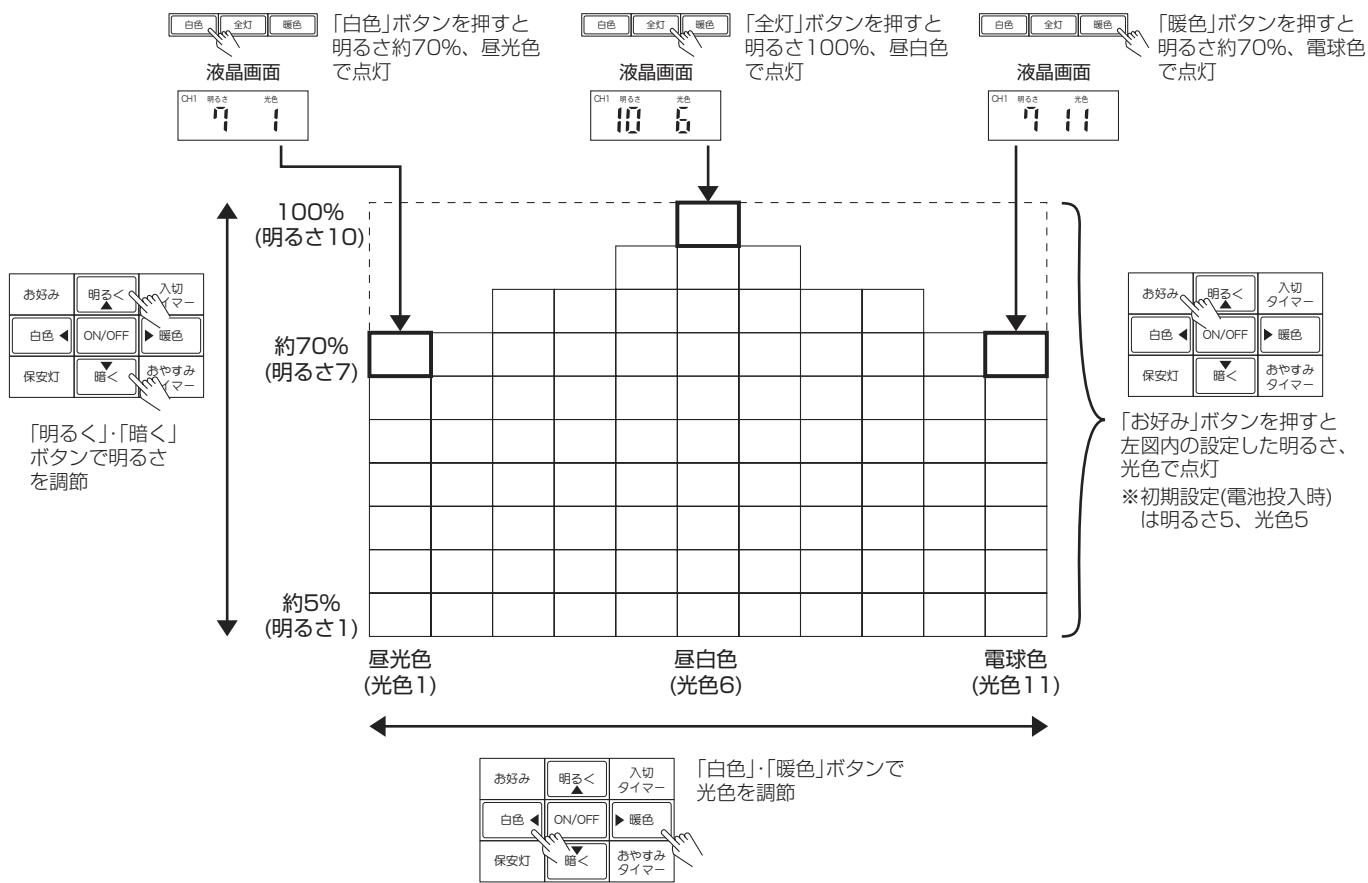
[受信器]

[2台目の受信器]



## ■ 明るさと光色の調整

●明るさは10段階、光色は11段階で調節可能です。

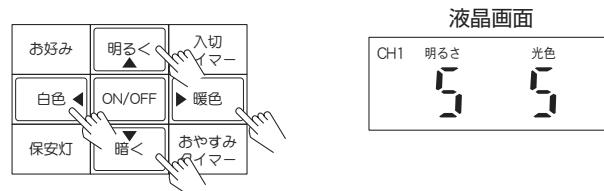


## ■ 「好み」ボタン設定方法

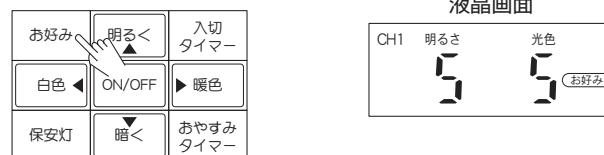
●よく使う明るさ、光色を「好み」ボタンに記憶させることができます。

例)明るさ5、光色5に設定する。

①「明るく」「暗く」「白色」「暖色」ボタンで、明るさ5、光色5に設定してください。



②「好み」ボタンを5秒以上長押しすると、液晶画面に(好み)表示が点灯し、「好み」ボタンに記憶されます。



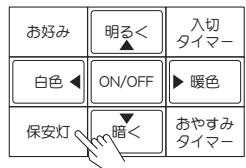
③いつでも「好み」ボタンを押すと、記憶した明るさ5、光色5で点灯します。

## ■「保安灯」を調光させる

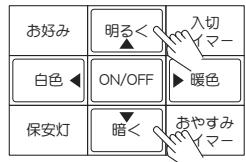
●保安灯は10段階の明るさ調節が可能です。

①「保安灯」ボタンを押すと、保安灯が点灯します。液晶画面に明るさの段数が表示されます。

※初期設定(電池投入時)は明るさ10



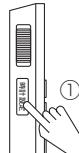
②「明るく」「暗く」ボタンで明るさを調節してください。液晶画面の明るさの段数が変化します。



③再度「保安灯」ボタンを押すと、②で調節した明るさで点灯します。

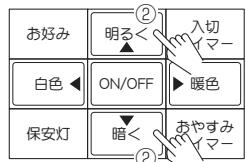
## ■「時計設定」方法

①左側面の「時計設定」ボタンを長押ししてください。

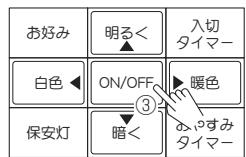


○は点滅箇所を示します。

②「▲」「▼」ボタンを押してください。

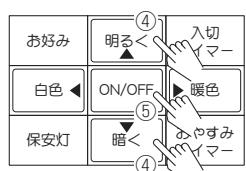


③選択したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



④時刻を設定します。「▲」「▼」ボタンを押してください。

⑤設定したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



⑥時刻の点滅が停止し、現在時刻が表示されます。

## ■「入切タイマー」時刻設定方法

●好みの時間に照明器具を自動で点灯(好み)、消灯させることができます。

○は点滅箇所を示します。

また、2種類の設定を登録し、毎日同じ時間に動作させることができます。

また、入切タイマー1と入切タイマー2に設定を登録し、毎日同じ時間に照明を動作させることができます。

(1)入切タイマー設定モードにする

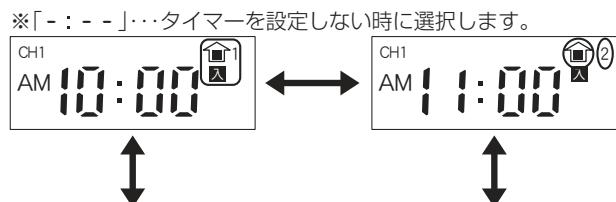
①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



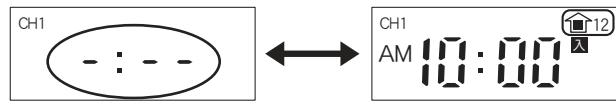
※タイマー時間の初期値は  
すべて「- : - -」になっています。

(2) 設定したいタイマーを選択する

①「◀」「▶」ボタンを押し、設定したいタイマーを点滅表示させてください。



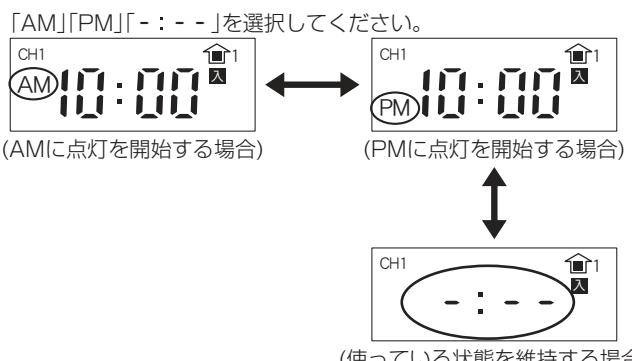
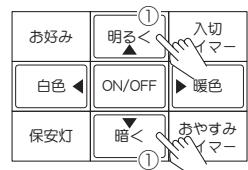
② 点滅表示させた後、「ON/OFF」ボタンを押してください。



(3) 点灯・消灯時刻を設定する

(以下は例として「入切タイマー1」にAM10:00点灯、AM12:00消灯を設定します。)

①「▲」「▼」ボタンを押し、AM/PM/使っている状態を維持のいずれかを選択してください。



② 選択した後、「ON/OFF」ボタンを押してください。

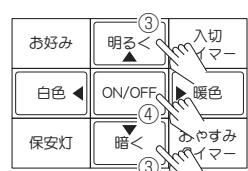


(時刻表示が点滅します。)使っている状態を維持する「- : - -」を選択した場合、⑤の消灯時刻の設定に移ります。



③「▲」「▼」ボタンを押し、点灯時刻を設定してください。

④ 点灯時刻を設定した後、「ON/OFF」ボタンを押してください。

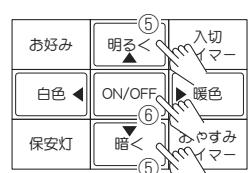


ボタンを1回押すと1分ごとに変化し、長押しで10分ごとに変化します。  
例. AM10:00に点灯します。

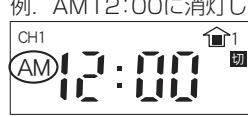


⑤ 消灯時刻も同様に「▲」「▼」ボタンを押して設定してください。

⑥ 消灯時刻を設定したら「ON/OFF」ボタンを押してください。



例. AM12:00に消灯します。



※「入切タイマー1 2」を設定する場合は、(3)点灯・消灯時刻を設定するを2回繰り返してください。  
これでタイマー設定は終了です。設定したタイマーが動き出します。

## ■「入切タイマー」セット・セット解除方法

●すでに時刻設定済みの「入切タイマー1」、「入切タイマー2」、「入切タイマー1 2」のうちの1パターンをセットし、自動で点灯・消灯等をすることができます。○は点滅箇所を示します。

(1)入切タイマー(「入切タイマー1」、「入切タイマー2」、「入切タイマー1 2」)のセット方法

①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



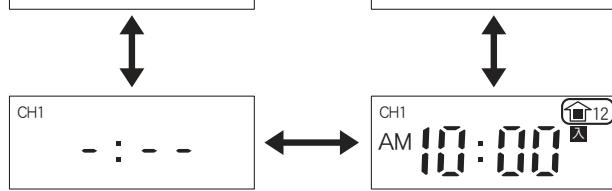
※例として「入切タイマー1」のタイマーをセットします。  
「入切タイマー1」「入」が点滅します。



②「◀」「▶」ボタンを押し、設定したいタイマーを点滅表示させてください。



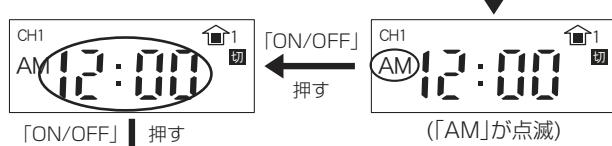
※「- : - -」…タイマーを設定しない時に選択します。



設定した内容が表示されます。

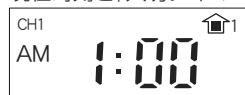


(時刻が点滅)



(「AM」が点滅)

セット完了  
現在時刻と「入切タイマー1」が表示されます。



④設定した内容を確認しながら、「ON/OFF」ボタンを押してください。

(「ON/OFF」ボタンは2~4回押します。)



※「入切タイマー1 2」のセットは④を2回繰り返してください。

⑤入切タイマーのセット完了です。

(2)入切タイマーのセット解除方法

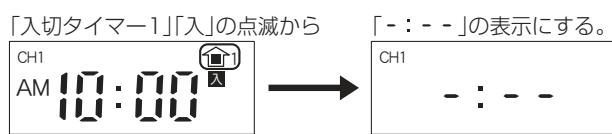
①「入切タイマー」ボタンを長押ししてください。



「入切タイマー1」「入」が点滅します。



②「◀」「▶」ボタンを押し、「- : - -」(タイマー設定しない)に切り替えてください。



③「ON/OFF」ボタンを押してください。



「ON/OFF」押す

セット解除完了



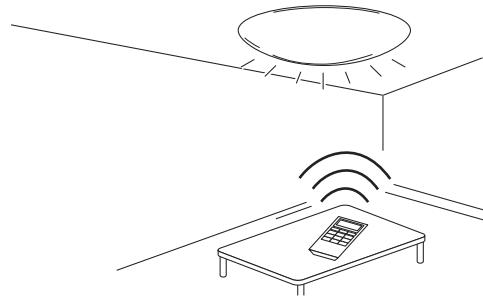
現在時刻が表示されます。

## (注意)

壁スイッチで消灯させた場合、リモコンでの操作ができません。

壁スイッチで点灯させてからリモコンを操作させてください。

タイマーはリモコンに記憶させるため、設定後は、ご使用になる位置で照明器具が動作することを確認してください。



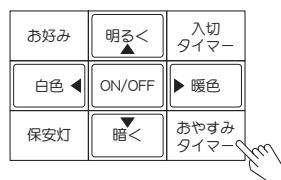
## ■「おやすみタイマー」動作方法 ■

●30分後または60分後に照明器具を自動で消灯することができます。

●おやすみタイマーをスタートさせる前に、リモコンをご使用になる位置で照明器具が動作することを確認してください。

### (1)60分タイマー動作方法

おやすみタイマーが動作していない状態(液晶に「60分」「30分」の表示なし)で、「おやすみタイマー」ボタンを1回押してください。

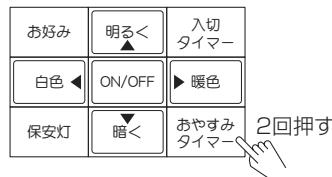


「60分」が表示され、60分タイマーがスタートします。

CH1 60分  
AM 10:00 おやすみ

### (2)30分タイマー動作方法

おやすみタイマーが動作していない状態(液晶に「60分」「30分」の表示なし)で、「おやすみタイマー」ボタンを2回押してください。



「30分」が表示され、30分タイマーがスタートします。

CH1 30分  
AM 10:00 おやすみ

### (3)おやすみタイマー解除方法

おやすみタイマーが動作している状態(液晶に「60分」または「30分」の表示あり)で、「おやすみタイマー」ボタンを1回押してください。

「60分」または「30分」が表示が消え、おやすみタイマーが解除されます。

CH1  
AM 10:00

## ■ 故障かなと思ったら

- 故障とお考えの前に、下記の項目をチェックしてみてください。

現象	考えられる原因	処置方法
照明器具が暗い。	調光が暗く設定されている。	照明器具が点灯しているときは、「明るく」ボタンを押して、調光を明るく設定してください。
リモコンを操作しても点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。 器具選択スイッチが照明器具のチャンネルと異なっている。	壁スイッチをONにしてください。 器具選択スイッチを照明器具のチャンネルに合わせてください。
照明器具が突然点灯する、または突然消灯する。	入切タイマーが設定されている。	「入切タイマー」ボタンを押して入切タイマーを解除してください。
点灯状態が勝手に切り替わる。	デモモード状態になっている。	器具本体(受信器)側チャンネルを「CH2」、リモコン(送信器)側チャンネルを「CH1」に設定してください。 リモコンを器具に向けた状態で、「お好み」「保安灯」「入切タイマー」「おやすみタイマー」の4つのボタンを5秒以上同時に長押しすると、「ピー」と音が鳴り、デモモードが解除されます。

## ■ 使用上の注意

- 他の器具を併用する場合は、器具間を1.5m以上離してご使用ください。照明器具本体の受信部に強い光が入りますとリモコン操作ができない場合があります。
- リモコンは、照明器具本体から3m以内の所からご使用ください。方向や、壁紙、カーテンにより感度が多少異なる場合があります。特に、窓ガラスのある部屋でご使用になる場合は、受信部が壁側を向くように取付けてください。
- 壁スイッチがOFFの状態ではリモコンにより照明器具を点灯することができません。必ず壁スイッチをONの状態でご使用ください。
- リモコンにより照明器具を消灯状態にした場合、停電した後、照明器具が点灯することができます。故障ではありません。
- 停電した後、照明器具が、停電前の点灯状態と異なる点灯状態となる場合があります。故障ではありません。
- リモコンを落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- リモコンに重いものをのせたり、踏んだりしないでください。故障の原因となります。
- リモコン内部や接点に、水など液体がこぼれないように注意してください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たるところや暖房器のそば等、温度の上がるところや湿度の高いところには置かないでください。故障の原因となります。
- ライトコントローラー(調光器)との併用はできません。
- 器具と送信器の間に遮へい物がありますと、照明器具が動作しない場合がありますので、その際には遮へい物を避けて操作してください。
- 送信部・受信部が汚れますと、動作しにくくなりますので、柔らかい布で拭いてください。
- 器具の近くでインバータ器具を併用する場合、誤動作することがありますのでご注意ください。
- 本取扱説明書の他に、取扱説明書が同梱されている場合は、そちらも必ずお読みください。
- 長時間お使いにならない時は、必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。(リモコン送信器や補助スイッチで消灯した場合、マイコンを使用しているため、わずかな電流が流れて約1.0Wの電力を消費します。)

品 番 DBL-4639FW・DBL-4640FW・DBL-4641FW

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

**お客様へ**

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 本説明書は大切に保管してください。

**工事店様へ**

- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

## 安全上のご注意 **必ずお守りください。**

**警告**

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

**注意**

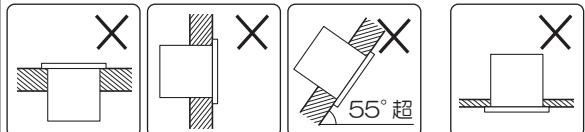
この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

**警告**



**厳守**

この器具は天井取付専用(埋込式)です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。



床面 壁面 指定以外の 補強のないロックワール  
傾斜天井 等のやわらかい天井  
特殊な断熱・遮音・防音施工された天井には使用しないで  
ください。  
過熱して火災の原因となります。



器具本体表示または本説明書に従って施工してください。  
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



**水ぬれ禁止**

この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



**禁止**

周囲温度-5~35°C以外では使用しないでください。  
火災の原因となります。

**注意**



**禁止**

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。



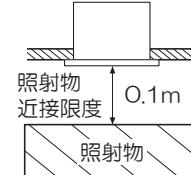
**分解禁止**

屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。



**厳守**

器具の真下0.1m以内に家具等の可燃物を近づけないでください。照射物の変色・火災のおそれがあります。



(家具・ドア・布等の可燃物)

調光器との併用はできません。火災の原因となります。  
調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般的な入切用スイッチに交換が必要です。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

**注意**



**厳守**

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

**●照明器具には寿命があります。**

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。  
※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

**●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。**

点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

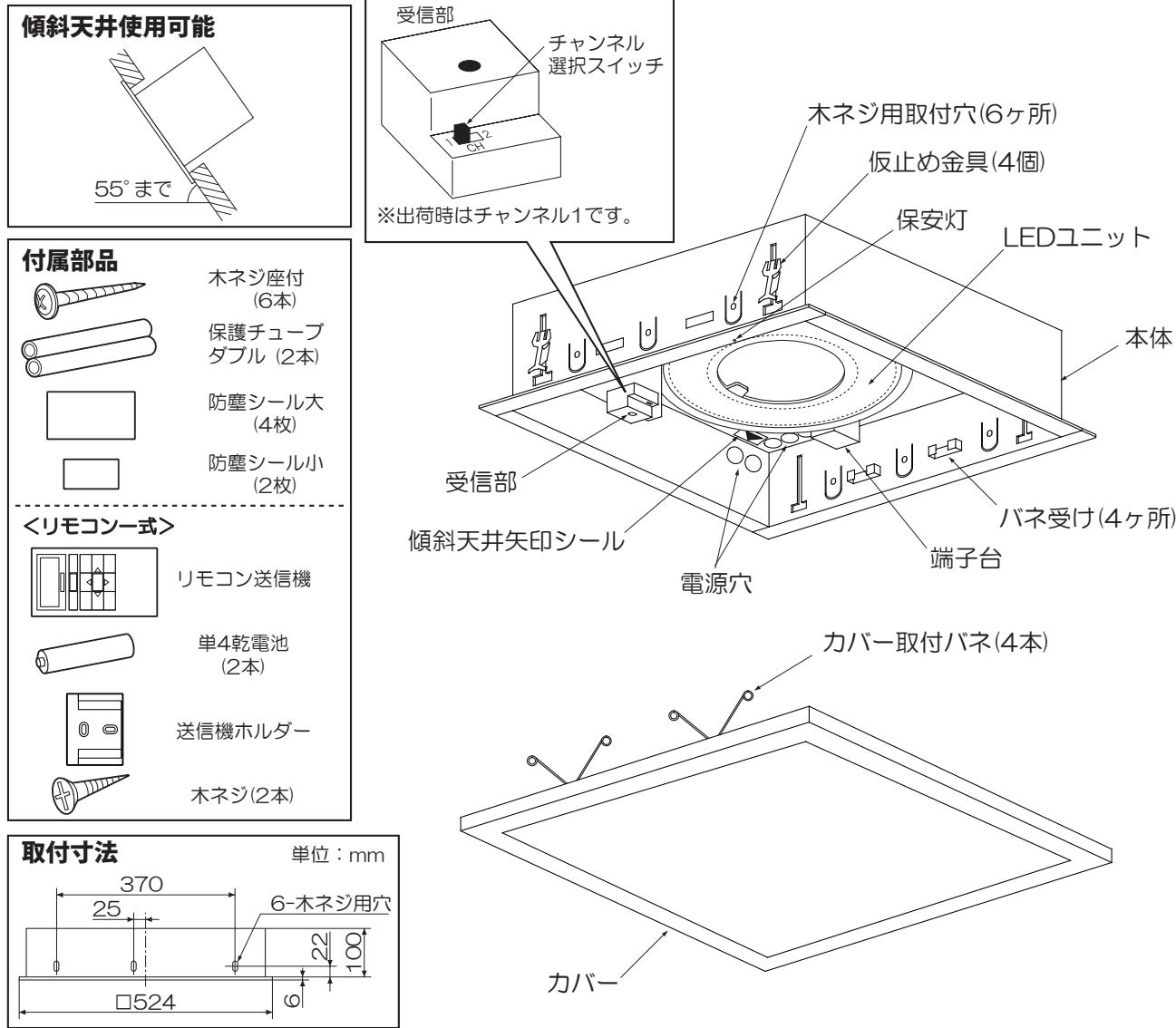
## 仕様

- 屋内専用
- 天井取付専用(埋込式)
- 高気密S形
- 木ネジ取付方式
- 調色・調光機能付
- 異常温度防止機能付
- LEDユニットは交換不可

品番	DBL-4639FW	DBL-4640FW	DBL-4641FW
定格電圧	交流 100V		
周波数	50/60Hz兼用		
消費電力 ※待機時 1W以下を要します。	38W	42W	46W
入力電流	0.39A	0.43A	0.47A
LEDユニット	演色性 Ra83 電球色(2700K)～昼光色(6500K) LED光源寿命：40,000時間		
保安灯	LED 1W 電球色		
器具重量	約5.7kg		
電源接続	端子台(送り総容量10A)		

## 各部の名称

※下図は、簡略した図です。



## 施工説明

### ① 取付け前の注意事項について

- 天井面の補強材のある位置、吊り木等で補強された野縁またはこれと同等以上の強度、構造を有する場所へ取付けてください。

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。乾燥が不充分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。

### ② 受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

- 照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

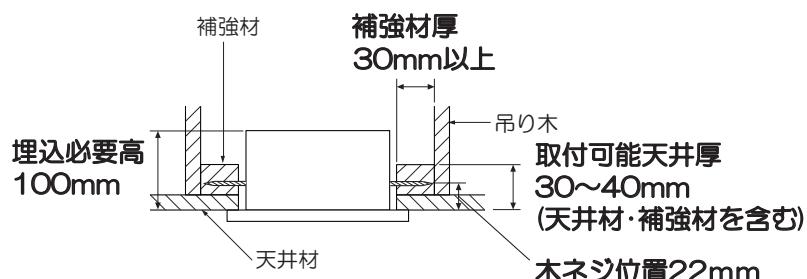
※受信部とリモコンのチャンネルが違うと操作ができません。(出荷時の設定は、受信部とリモコンのチャンネルは1です。)

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

選択スイッチ	器具1台目	器具2台目
受信部側	1CH	2CH
リモコン側	1CH	2CH

### ③ 天井面を確認する

- 埋込穴と埋込必要高、補強材厚・取付可能天井厚を確認してください。

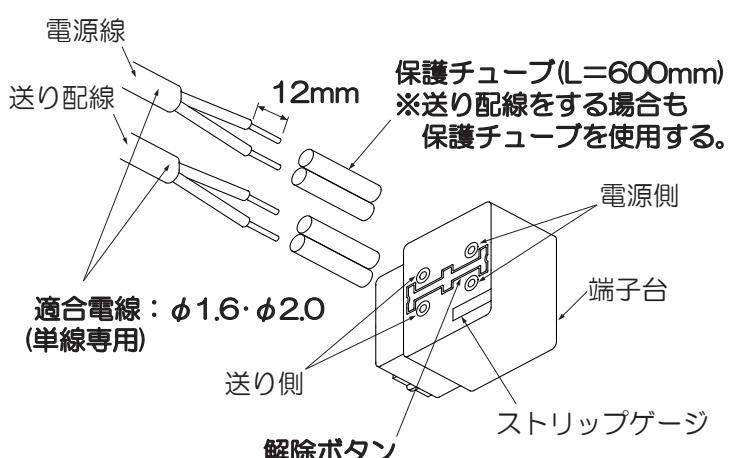
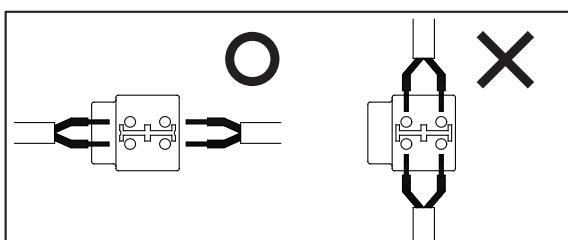


#### ⚠ 警告

指定寸法以外の天井には取付けないでください。落下の原因となります。

### ④ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

- 本体の電源穴に電源線を通し、端子台に適切、確実に差し込んでください。



#### ⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

適合電線:  $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$   
(単線専用)

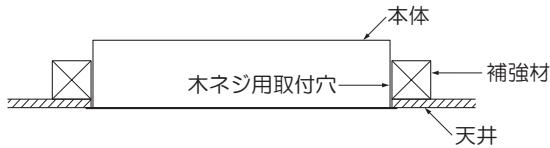
### 〈電源線を取外す場合〉

- マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

## 施工説明

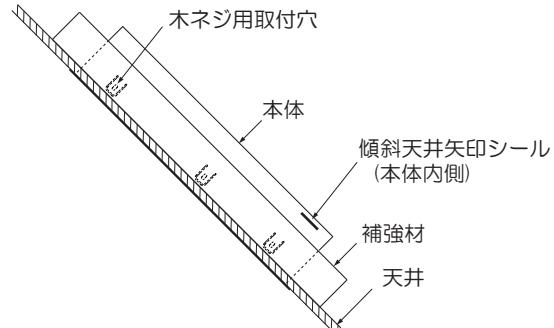
### ⑤ 本体を仮止めする

- 本体の木ネジ用取付穴(6ヶ所)のある面を補強材の方向に合わせて埋込穴に本体を挿入して押し上げてください。

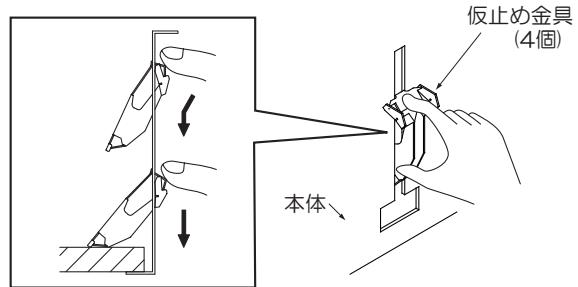


#### <傾斜天井に取付ける場合>

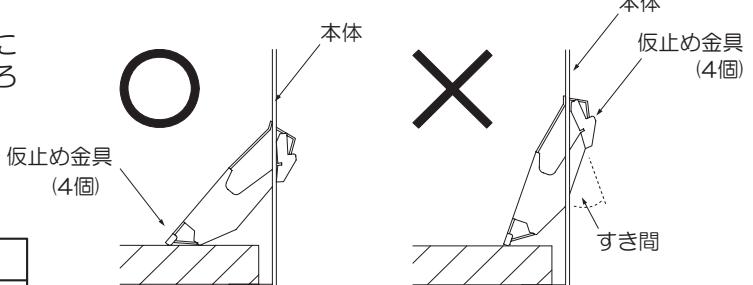
- 傾斜天井矢印シールが傾斜の下側になるように取付けてください。  
※木ネジ用取付穴(6ヶ所)のある面を補強材の方向と合わせてください。



- 仮止め金具(4個)の背を指で押し下げ、確実に固定してください。



※仮止め金具と本体との間にすき間のある場合は確実に取付いていません。再度、本体仮止め金具を引き下ろしてください。

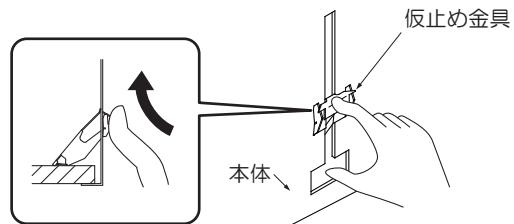


#### △ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

#### <本体を取り外す場合>

- 仮止め金具を押し上げ、埋込穴から本体を取り外してください。



### ⑥ 本体を取付ける

- 木ネジ(6本)で天井面の補強材に取付けてください。

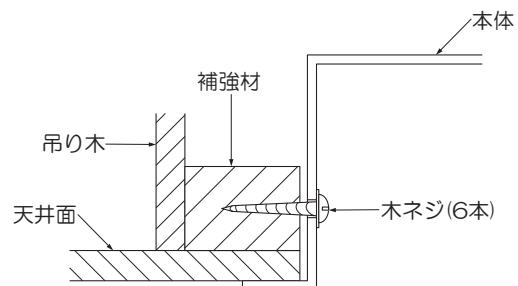
#### △ 警告

補強材へのねじ込み寸法が、20mm以下の場合は、落下の原因となります。

既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。落下の原因となります。

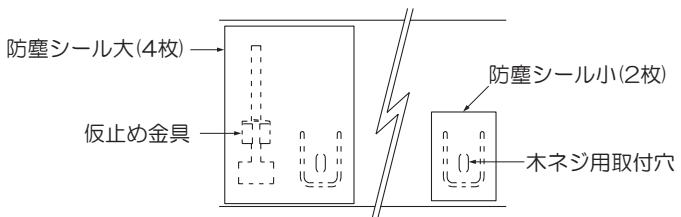
必ず木ネジで固定してください。仮止め金具だけの取付けの場合、落下の原因となります。

器具が天井の造営材・ダクト等の設備に触れないようにしてください。火災・感電の原因となります。



## 7) 防塵シールを貼付ける

- 付属の防塵シール大(4枚)と防塵シール小(2枚)の台紙をはがしてください。
- 仮止め金具と木ネジ用取付穴(4ヶ所)を本体の内側から防塵シール大(4枚)を貼付け、すき間のないようにふさいでください。
- 中央の木ネジ用取付穴(2ヶ所)を本体の内側から防塵シール小(2枚)を貼付け、すき間のないようにふさいでください。

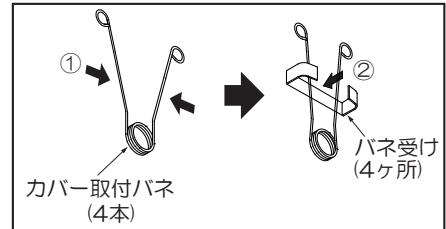


### △ 注意

貼付けが不完全な場合、気密性低下の原因となります。

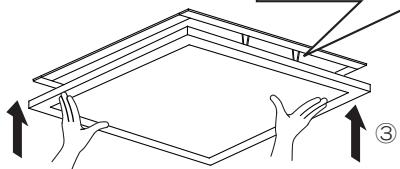
## 8) カバーを取付ける

- ①②カバー取付バネ(4本)をせばめながら、バネ受け(4ヶ所)に取付けてください。
  - ③カバーを垂直に押し上げ、取付けてください。
- ※カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか確認してください。



### △ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。



## 取扱説明 お客様へ

- ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## ご使用方法

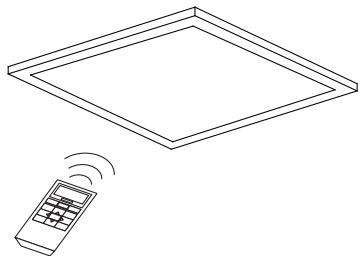
- 点灯の切り替えは、同梱のリモコンまたは壁スイッチで操作してください。

### <リモコンで操作する場合>

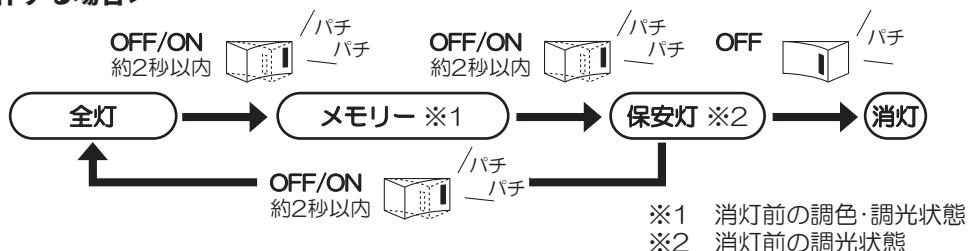
- 光の色は11段階、明るさは10段階の調節が可能です。

※詳細はリモコンの「取扱説明書」をご覧ください。

※壁スイッチがOFFの場合は、点灯の切り替えはできません。



### <壁スイッチで操作する場合>



※壁スイッチをOFFにしてから約3秒以上経過した後、再度ONにすると消灯前の状態に戻ります。

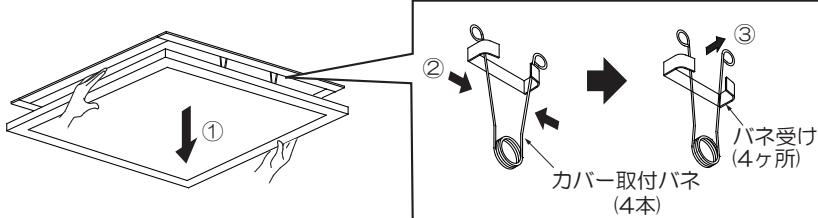
# カバーの取外し方法

## △警告

必ず電源を切り、器具とLEDが冷めてから取外してください。感電・やけどの原因となります。

### 1. カバーを取外す

- ①カバーをゆっくり引き下げてください。
- ②③カバー取付バネ(4本)をせばめながらバネ受け(4ヶ所)から取外してください。



### → 2. カバーを取付ける

- 取付けは5ページの「⑧カバーを取付ける」の項をご参照ください。

## ご使用に関して

### 〔留意点〕

- 調光範囲は約5%～100%ですが、室温によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチがONの状態で停電がおこった場合、停電復帰後、自動的に点灯する場合があります。

### 〔周囲の影響〕

器具の近くで使用すると以下の現象がまれにあります。

- ラジオやテレビ等の音響・映像機器への雑音。
  - トランシーバーやラジコンのコントローラ等の無線機により器具が点滅する。
- ※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

### 〔ご注意〕

- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがあります。異常ではありません。
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

## △警告

LEDを直視するのをおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

## 保証について

- 保証について  
この商品の保証期間は3年です。  
但し、消耗品は除きます。  
詳細は弊社カタログをご参照ください。  
※保証期間の例外  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証書について  
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間  
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。  
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 点検とお手入れ方法

- 明るく安全に使用するために6カ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

### (1)点検項目

- LEDが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 异常な臭い、音、発熱はありませんか。
- カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

### (2)清掃(安全のため、電源を切ってから行ってください。) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。

- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

### 2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター(0570) 003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。